

当院受診の患者さんおよびご家族の方へ

当院では 2022 年 11 月から未破裂脳動脈瘤の診断に対してフローダイバーターにて治療された患者さんのデータを後方視的*に検討しています。

本研究では対象は 2022 年 11 月から当院で未破裂動脈瘤に対してフローダイバーター留置にて治療を受けた患者さんが対象です。動脈瘤治療にあたって、抗血栓療法は、術前最低 14 日前からアスピリン 100mg とクロピドグレル 75mg またはプラスグレル 3.25mg を内服します。術前日に包括的血液凝固能測定装置である Thromboelastography TEG6s を用いて全血を対象に MA-ADP を測定し抗血小板剤の効果を判定します。今回我々は TEG6s を用いて周術期の血小板凝集抑制能を評価し、抗血栓療法を調整することで周術期の血栓性合併症の予防に寄与するか検討します。その結果を学会等で発表し、論文発表を予定しています。このデータを利用した研究計画は、倫理委員会*が科学的倫理的に適切な計画であるかどうかを公正に審査しています。

皆様方の診療データは匿名化しますので対象者が特定される個人情報は一切使用いたしません。個人情報の安全管理と保護には万全を期しますので、どうかこの研究へのご理解をお願いいたします。

なお、この研究に診療データを提供したくない方、またはこの研究の実施方法や内容について詳しくお知りになりたい方は、お手数ですが、スタッフまでご連絡ください。ご協力いただけない場合でも、当院での診療に関して不利益をこうむることは一切ありませんので、どうぞご安心ください。

*「後方視的研究」とは、過去のデータに基づいて行われる研究です。

*「倫理委員会」とは、その医学研究が科学的倫理的に問題ないかどうかを公正に審議する委員会で、委員には医学・医療の専門家等の自然科学の有識者、倫理学・法律学の専門家等の人文・社会科学の有識者、研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者、倫理委員会の設置者の所属機関に所属しない者などが含まれています。

(医療機関名)

福岡赤十字病院

(研究責任者・情報管理者名)

脳神経外科 松田 浩大